

## 第28回国連CEFACTフォーラム会議報告

2016年9月26日～9月30日

バンコク（タイ）

報告者：国連CEFACT日本委員会  
一般社団法人サプライチェーン情報基盤研究会  
菅又 久直

### 1. 会議日程：

9月25日（日） 東京発 バンコク着  
9月26日（月）～9月30日（金） 国連CEFACTフォーラム  
10月1日（土） バンコク発 東京着

### 2. 議参加の目的：

国連CEFACTは、貿易手続の簡易化と電子ビジネスの促進、およびそれらに関するグローバルなポリシーや技術仕様の制定を目的として設立された国連組織である。

小生は、国連CEFACT組織の中で、手法技術分野およびサプライチェーン分野の開発に貢献するとともに、今後のアジアおよび日本における電子ビジネス関連標準の推進方策を見通すことを目的に、一般財団法人日本貿易関係手続簡易化協会の依頼により第28回国連CEFACTフォーラムに参加した。

本報告は、国連CEFACTフォーラムの内、小生が主に参画した審議を中心にまとめたものである。

### 3. 第27回国連CEFACTフォーラム：

33カ国及び多数の国際機関（UNECE, UNESCAP, EU, EEC, GS1, IBC, ISO など）より、登録ベースで124名が参加した。アジアからは10カ国（日本、フィリピン、タイ、スリランカ、カンボジア、マレーシア、ネパール、パキスタン、中国、インド）が参加したが、AFAC主要メンバーの韓国・イラン・ベトナムの不参加が残念である。の日本からは次の8名が参加した。

菊川 正博（日本貿易関係手続簡易化協会）  
今川 博（日本貿易関係手続簡易化協会）  
鈴木 耀夫（NPO法人観光情報流通機構）  
西澤（NPO法人観光情報流通機構）  
田中（NPO法人観光情報流通機構）  
鬼頭 吉雄（運輸・港湾エキスパート）  
遠城 秀和（NTTデータシステム技術株式会社）  
菅又 久直（国連CEFACT日本委員会・サプライチェーン情報基盤研究会）

#### 4. ミニ・コンファレンス報告：

前回の国連CEFACTフォーラムより、各ドメインのプロジェクトにつき、ドメイン外の参加者を含めて情報を共有するため、ミニ・コンファレンスが開催されるようになった。

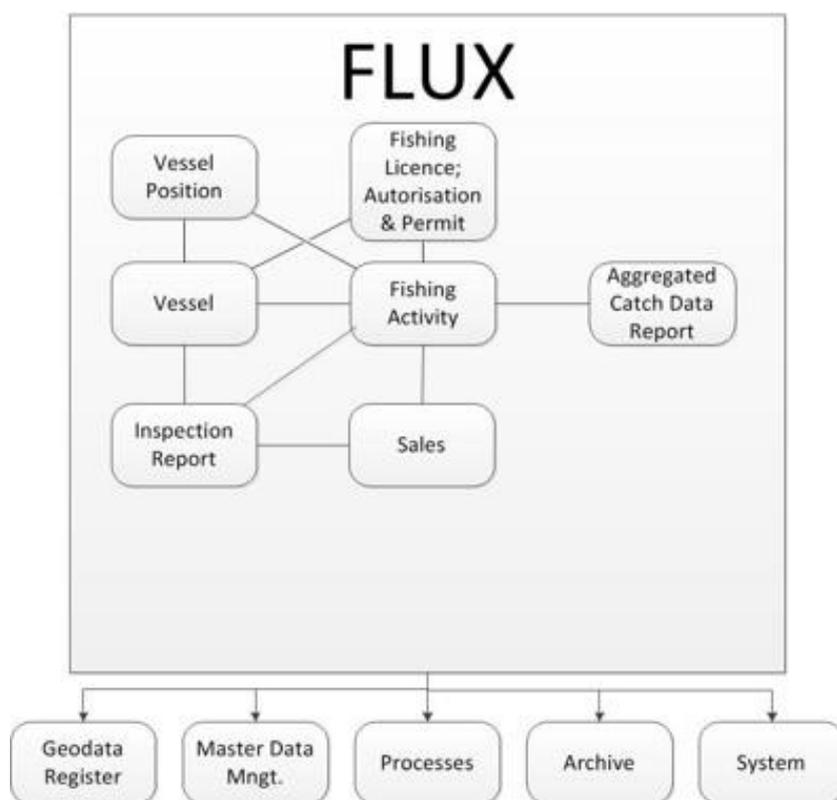
今回企画されたミニ・コンファレンスは以下の通りである。

- ・ 貿易手続における性別差別
- ・ 電子動植物検疫証明書
- ・ 国連CEFACT参照データモデル
- ・ 国連CEFACT旅行分野の活動
- ・ シングルウィンドウ運用原則
- ・ FLUXによる漁業管理
- ・ 廃棄物移動管理
- ・ 貿易金融

小生は、「FLUXによる漁業管理」および「貿易金融」に参加した。

##### 4.1 FLUXによる漁業管理

FLUXは、漁業に関わる情報を効果的に交換するための国際標準として開発が進められている。このFLUXは漁獲割当管理の情報化が中核的な機能であり、これにより漁船の違法操業の取り締まり等への適用可能性につき議論が行われた。



図一 1 FLUX情報モデル

## 4.2 貿易金融

輸出入当事者にとって、リスクの少ない取引を保証できるトレード・ファイナンスについての議論が行われた。

Risk Category	Economic (commercial) risks related to the trading partner	Exchange rate risk	Transportation risk	Political risks		
				Foreign policy	Domestic policy	Economic policy
Examples	Importer is not willing or unable to pay Importer does not accept merchandise Exporter does not deliver on time or products agreed	Floating exchange rates: variations in exchange rates Fixed exchange rates: risk of devaluation	Damaged or loss of goods	War Embargo Restrictions	Revolt Civil war	Prohibition to transfer foreign exchange Currency declared non-convertible
Methods to mitigate risks	Private insurance or public export credit agencies Letter of Credit Bank guarantees	Bank provide hedging facilities; public exchange risk insurance	Private insurance	Export credit agencies or private insurance		

図一 貿易におけるリスク

## 5. フォーラム審議報告：

フォーラムでは、PDA（Program Domain Area）ごとに会議が進められる。小生は、サプライチェーンPDAおよび手法・技術PDAを中心に参加した。

### 5.1 サプライチェーン PDA

サプライチェーン PDA（BUY/PAY）（担当副議長は Raffaele Fantetti（イタリア経済開発省））は、次の3つのドメインで活動している。

Finance and Payment Domain（リーダー：Lillianna Fratini Passi）

Procurement Domain（リーダー：Jostein Fromyer）

Supply Chain Management Domain（リーダー：Edmond Grey）

今回は、Procurement Domain と Supply Chain Management Domain 合同会議、Supply Chain Management Domain の Scheduling Project、Finance and Payment ドメインの会議に出席した。

#### 5.1.1 Procurement Domain と Supply Chain Management Domain 合同会議

(1) 公共調達についての標準化ニーズ調査のために、各国の現状アンケートが行われている。まだ 10 か国しか回答がなく、アジアからは中国だけが回答している。そのため、

日本からも回答書を提出してほしいとの要請があった。

- (2) サプライチェーン参照情報モデルはほぼ完成し、実証の段階に入っている。公共調達関連メッセージ（入札、契約など）の参照モデル化につき検討を開始することとなった。

### 5.1.2 Scheduling Project

昨年 11 月の第 26 回国連 CEFACT にて、日本より提案したプロジェクト「CI-SC Scheduling Supply Chain（ジャストインタイム製造プロセス）」につき、2 回目の F2F 会議が行われた。本プロジェクトは、欧州の航空機製造組合（Boostaero International Association）の提案により国連 CEFACT 標準となったスケジューリング方式によるサプライチェーン（需要予測（Demand Forecast）に基づく供給指示（Supply Instruction））を、ジャストインタイム方式でも活用できるように拡張するもので、国内および海外現地取引を対象にした自動車部品メーカーを含む中小企業製造業の要望に応えるものである。

我が国からの要望 18 件と BoostAero からの要望 1 件につき、1 つ 1 つ審議を行った。結果は次の通り。

・ソリューション合意	10 件
・業務要件定義書作成に委ねる	2 件
・要望取下げ	6 件
・保留（時間切れ）	1 件

要求事項の詳細は添付（1）の通り。

審議結果より、現状の開発ステージ（ODP2 要件収集ステージ）から次のステージ（ODP3 仕様開発ステージ）に進むことを合意した。2017 年 3 月までに仕様ドラフト（業務要件仕様書）を策定し、次回フォーラム後に公開レビューに持ち込む計画である。

### 5.1.3 支払通知プロジェクト

日本提案の本プロジェクトは、本年 5 月で正式に Project Exit となり、ODP7 の保守ステージに移行している。その後、我が国における金融 EDI の検討においていくつかの修正要求が出され、ハーモナイゼーション審議の結果、全て次回の共通辞書（CCL16B）に登録されることとなった。

## 5.2 手法・技術 PDA

PDA 担当副議長 Anders Grangard (GS1) のもと、次の 4 つのドメインが活動を行っている。

Specification Domain（リーダー：Christian Huemer）

Syntax Domain（リーダー：Gait Boxman）

Library Maintenance（リーダー：Mary Kay Blantz）

本フォーラムでは、**Library Maintenance** を中心に審議が行われ、共通辞書 **CCL16B** および対応する **XML** スキーマが完成した。それらは、フォーラム後の **10月5日** に国連 **CEFACT** の **WEB** より公開された。

また、新規プロジェクトとして次の **3件** の検討が始まった。

- ① 地理空間表現のデータ型：一定の地理領域（耕作地など）を定義する手法の定義。
- ② 標準文書ヘッダー：**OASIS** と共同で現行 **SBDH** 標準を改訂しようとするプロジェクト。当プロジェクトは、**2年前**まで日本が中心に進めようとしたが、リソース不足のため断念したものである。
- ③ コードリスト管理：現在のコードリストはシンタックスに依存しながら、**TDED**、**UN/EDIFACT**、**XML** とばらばらに定義され、また外部機関（**ISO** など）依存のものもある。また、全てのドメイン要求が含まれるため、コードリストが肥大となり使い勝手が悪い。それらの課題を整理し、ガバナンスのきいた使い勝手の良いコードリスト管理手順を再構築しようとするものである。

以上

## JIT生産方式（CI-SC Scheduling）標準化プロジェクト

国連CEFACTフォーラム（2016年9月26日－30日）審議結果

提案業務要件:	19
ソリューション合意	10
BRS作成合意	2
要求取下げ	6
保留	1

- \* 業務要件定義書（BRS）開発開始を合意。
- 要件収集ステージ（ODP2）から仕様開発ステージ（ODP3）へ進捗。
- \* 業務要件定義書（BRS）ドラフトは次回フォーラム（3月）までに策定。
- その後、2か月の公開レビュー（ODP4）
- \* 次回電話会議は11月1日

1

Requirements	Status
1 Enhance the function of Cross Industry Scheduling Forecast (CIDF).	
1.1 Specify whether the message is Notification or Confirmation	Withdrawn
1.2 Specify the date of Notification and Confirmation	Agree
1.3 Specify the per package unit quantity for delivery	Agree
1.4 Specify the planned total quantity, the planned total quantity for the next month and the planned total quantity for the month after the next	Withdrawn
1.5 Specify the transport service for the delivery	Agree
1.6 Specify the physical logistics package	Agree
2 Specify the information of Identification Tag for Cross Industry Scheduling Supply Instruction (CISSI)	
2.1 Specify the name, the purpose and the confirmed date for the exchanged document	Agree
2.2 Specify the order price and the tax	Agree
2.3 Specify the details for the delivery	Agree
2.4 Specify the delivery time exactry	Withdrawn
2.5 Specify the page number of the reference document and the note for the reference document	Agree
2.6 Specify the transport service for the delivery	Agree
2.7 Specify the information of Identification tag for logistics	Go to BRS
2.8 Specify the physical logistics package	Pending
3 Consumption Report	Go to BRS
4 Support Supply Chain hierarchy	Withdrawn
5 Support buyer supplied product handling	Withdrawn
6 Expand the functionarity of the document context.	
6.1 Specify the domain identified parameter	Withdrawn
6.2 Specify the user specified parameter	Agree

リクワイアメント1

## 需要予測（CISDF）の機能追加

1. 1 内示／確定区分指定  
既存 Supply Plan. Type. Codeで指定可能。  
→要求取り下げ
1. 2 内示／確定日時指定  
新 Document. Agreed. Date Timeを要求。  
→要求をDocument. Acceptance. Date Timeに変更
1. 3 梱包単位数指定  
新 Trade Delivery. Per Package\_ Unit. Quantityを要求。  
→合意
1. 4 当月／次月／次々月ごとの数量指定  
Event. Occurrence. Date Timeで当月／次月／次々月は指定可能。  
→要求取り下げ
1. 5 配送方式指定  
新 Transport Movement. Type. Codeで配送方式指定を要求。  
→合意
1. 6 物流パッケージタイプ指定  
Trade Line ItemにLogistics\_ Packageを追加（Association）要求。  
→合意

リクワイアメント2  
(その1)

## 納入指示（CISSI）に現品票情報追加

2. 1 文書に種別（新規／変更）と合意日時追加  
Exchanged DocumentにPurpose. CodeとAgreed. Date Time追加。  
→Purpose. Codeの代わりにStatus. Code使用（要求取り下げ）  
→Agreed. DateはAcceptance. Date Timeに変更
2. 2 発注金額と税額項目追加  
Trade Agreement. Product. CI\_ Trade\_ PriceとCI\_ Trade\_ Taxを要求。  
→Net Price. Product. CI\_ Trade\_ Priceを使用（要求取り下げ）  
→CI\_ Trade\_ Taxは合意
2. 3 配送詳細指定  
次のBBIEを追加要求。  
CISSIL\_ Supply Chain\_ Trade Delivery. Per Package Unit. Quantity (New)  
CISSIL\_ Supply Chain\_ Trade Delivery. Discontinue\_ Status. Code (New)  
CISSIL\_ Supply Chain\_ Trade Delivery. Remaining\_ Requested. Quantity (Existing)  
CISSIL\_ Supply Chain\_ Trade Delivery. Partial Delivery Allowed. Indicator (Existing)  
→Discontinue\_ StatusはCI\_ Supply Chain\_ Schedule (New)で指定
2. 4 配送時間指定  
日付無の時間指定を要求。  
→CCL16Aで既に反映（要求取り下げ）

リクワイアメント2  
(その2)

## 納入指示 (CISSI) に現品票情報追加

2. 5 参照文書の頁番号指定  
CI\_Referenced\_Document. Page. IdentifierとNoteを追加要求。  
→ Delivery\_ Note. Document. Page. Identifierを追加。
2. 6 配送方式指定  
新 Transport Movement. Type. Codeで配送方式指定を要求。  
→ 合意
2. 7 現品票情報追加  
現品票情報の構造化を提案。  
→ 国内自動車業界 (トヨタWG) と相談済。  
→ 「後工程」の情報構造化はBRSにてドラフトする。
2. 8 物流パッケージタイプ指定  
Trade Line ItemにLogistics\_ Packageを追加 (Association) 要求。  
→ 審議時間切れ

5

リクワイアメント3

## VMIプロセスへの適用

VMI : Vender Managed Inventory

航空機宇宙業界 (BAI: Boost Aero International) より提案

3. 1 委託VMI (Consigned VMI : 使用量に基づくインボイス) のための使用料レポート (Consumption Report) メッセージの提案

\* 買手が使用量を報告し、売手がそれに基づき請求を行うとともに、在庫予測を行う。

→ 業務要件仕様 (BRS) が提出された。

→ Consigned VMIの定義追加。

It requires the Supplier to maintain the inventories within predefined and mutually agreed min / max-ranges of inventory levels. The supplier is responsible to manage the inventory with the help of the inventory forecast. The Supplier is free (according to the agreement) to deliver any quantity at any time within these indicated ranges. These ranges may be updated within the VMI process, within limits defined in the contract between Customer and Supplier.

6

リクワイアメント4

## 多重構造サプライチェーンへの適用

4. 1 取引（直接の売手・買手／出荷元・出荷先）の元となる需要家（サプライチェーン階層の上位）情報を指定する。

既存のCIS\_Supply Chain\_Trade Agreement. Product End User. CI\_Trade\_Partyを使用する。

→要求取り下げ

リクワイアメント5

## 支給品有のサプライチェーンへの適用

5. 1 支給品プロセスかどうかを指定する。

既存のCI\_ Exchanged Document\_ Contextにより指定する。

→要求取り下げ

リクワイアメント6

## プロセス定義の拡張

6. 1 プロセス定義で業務領域を指定する。  
CI\_ Exchanged Document\_ Context. Industry\_ Specified. CI\_ Document Context\_ Parameter（追加）により指定する。

\* CI\_ Exchanged Document\_ Context. Subset\_ Specified. CI\_ Document Context\_ Parameterを使用する。

→要求取下げ

6. 2 ユーザー（取引グループ）固有のパラメータを指定する。  
CI\_ Exchanged Document\_ Context. User\_ Specified. CI\_ Document Context\_ Parameter（追加）により指定する。

→合意